

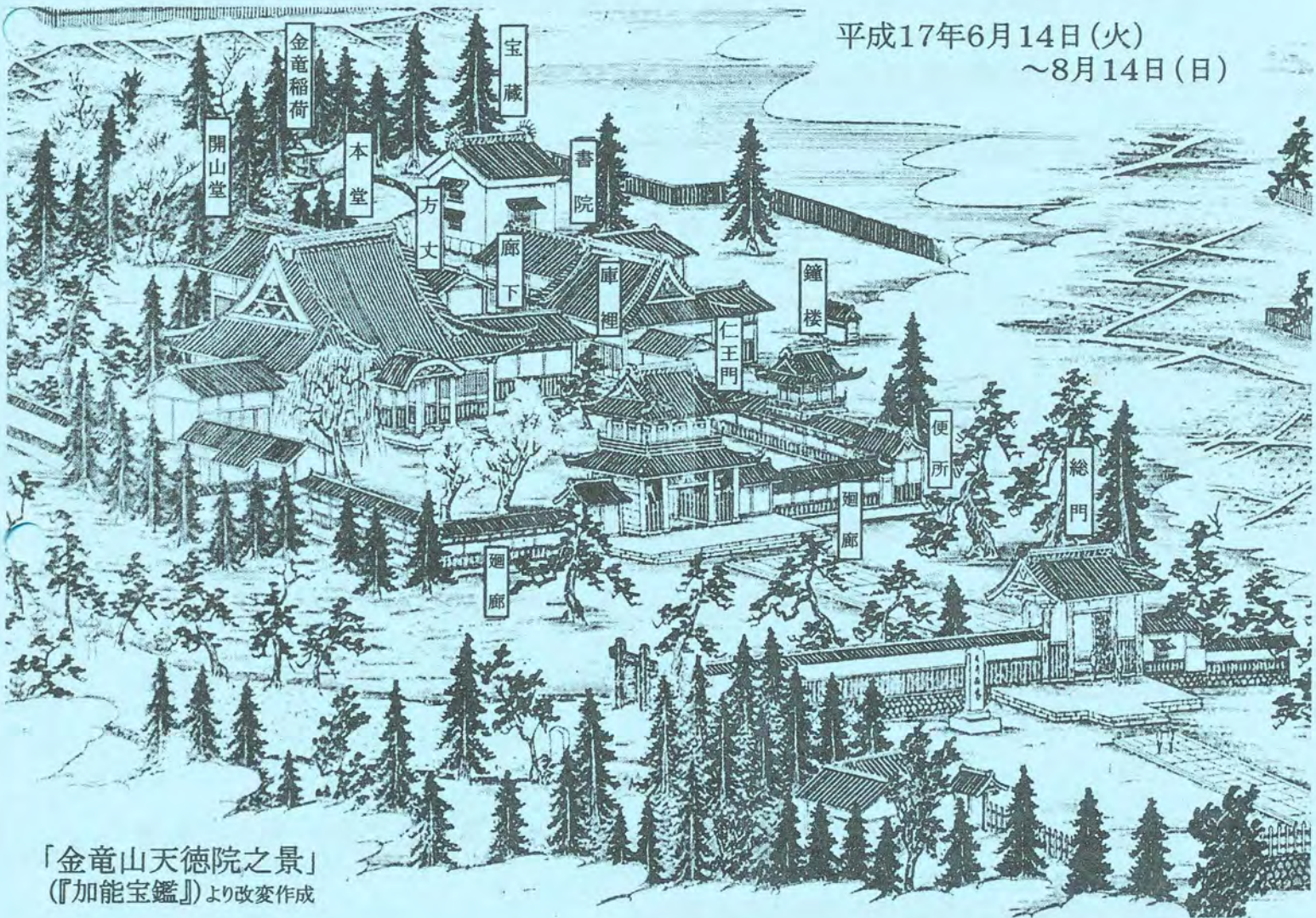
平成17年度 夏期展

前田家の菩提寺

—宝円寺・天徳院を中心にして—

平成17年6月14日(火)

～8月14日(日)



「金竜山天徳院之景」
(『加能宝鑑』)より改変作成

金沢市立玉川図書館 近世史料館

『前田家の菩提寺』展 開催にあたって

加賀藩主前田家一族ゆかりの寺院は多いが、藩主の菩提寺は、曹洞宗寺院の宝円寺と天徳院であり、「加賀の二寺」と称されていた。

藩祖利家は越前府中城主時代に高瀬宝円寺の大透和尚に帰依し、七尾城主時代には宝円寺(後の長齢寺)を招き、その後金沢にも山号を護国山とし宝円寺を建立する。慶長4年(1599)大阪で逝去した利家(高德院桃雲浄見大居士)は、野田山に埋葬され、墓地を管理する寺である桃雲寺は「野田の宝円寺」とも称された。

2代利長(瑞龍院)は高岡において宝円寺3世広山和尚を開山として法円寺を建立し、逝去後、3代利常(微妙院)により瑞龍寺として整備されている。また、天徳院も、3代利常の正室珠(天徳院)が元和8年(1615)に逝去したことにともない、翌年利常が建立したものである。4代光高(陽広院)は利常存命中の正保2年(1645)に逝去し、天徳院に葬られている。

2代利長の菩提寺を瑞龍寺、4代光高の菩提寺を天徳院とした3代利常は、万治元年(1658)に逝去し宝円寺を菩提寺とした。以後、12代までの藩主級(斉敬=観樹院を含む)は逝去順に宝円寺と天徳院で交互に菩提寺とし、葬儀が執り行われている。

野田山には、12代までの藩主のうち10人の墓地が築かれており、桃雲寺も含め、前田家藩主の菩提寺との関わりが深い。

展示史料一覧

〔史料名〕	〔史料番号〕
金沢図 天保期 縮尺 約1/4700 武家屋敷・社寺名入	大1002
加越能社寺来歴 延宝2年(1674)、加賀藩による社寺改めで書き上げられたものの写。 延宝2年・貞享2年・文化3年に藩内の社寺の由来を書き上げさせている。	16. 61-95
三州寺号帳 宗派毎の寺院名簿。宝円寺・天徳院は曹洞宗の触頭 <small>ふれがしら</small> (頭寺)である。 触頭は藩からの命などを触下寺院に伝えるなど寺院支配の役割も任されていた。	16. 61-55
曹洞宗寺院来歴 文化3年(1806)由緒書上の写。宝円寺・天徳院については、住職毎に出来事を記す。	16. 61-101
宝円寺絵図 文政8年(1825)の戒光院(12代斉広 <small>なりなが</small> の子)の葬儀に伴う御廟所が描かれている。	16. 61-299
宝円寺山門棟札写 弘化3年(1846)再建のときのもの。	18. 1-68
宝円寺へ御参詣御用絵図 佐渡守(7代宗辰 <small>むねとさ</small>)の参詣に伴うもの。	16. 15-60
宝円寺并御廟之図 慶応2年。	16. 16-452
宝円寺御霊堂絵図 宝暦9年(1759)の大火でほぼ焼失。霊堂は天明3年(1783)に再建している。	16. 16-453

〔史料名〕	〔史料番号〕
天徳院御霊堂棟札写	18. 1-65
天徳院内陽広院様御霊堂御内陣碁天井御畫張配之図	18. 1-30
天徳院内陽広院様御霊堂窺絵図	18. 1-33
<p>前羽林将巖天良大居士は陽広院(4代光高)のこと。 文政2年(1819)3月から造営、翌年正月に完成。</p>	
天徳院御霊堂絵図	18. 1-25
<p>天明4年(1784)。 11代治脩^{はるなが}参詣に伴うものか</p>	
真龍院様御参詣之節天徳院御縮絵図	16. 15-58
<p>真龍院は12代齊広^{なりなが}の正室。 天徳院(珠)の霊堂が描かれていないのは、寛文11年(1671) 五十回忌に野田山に移葬したため、火災等の後、再建されなかったと考えられる。</p>	
天徳院御廟絵図并天徳院内外略図	13. 0-90
泰雲院様御葬送并御中陰等御法事御用留帳之内御作法等要文	16. 16-281
泰雲院様御葬式御行列付	16. 16-282・283
泰雲院様御葬送金谷御殿ヨリ宝円寺迄御行列附	16. 16-284
泰雲院様御葬式金谷御殿ヨリ宝円寺迄御行列帳	16. 16-285
泰雲院様御葬式御行列附	18. 9-12
泰雲院様御葬式絵図(泰雲院様野田御廟之図)	16. 16-280
<p>泰雲院は10代重教^{しげみち} 天明6年(1786)6月11日に逝去。 葬式は6月26日、宝円寺で行われ、野田山で埋葬される。 行列は丑刻(午前2時頃)、金谷御殿から出棺し、石引を通り、卯刻(午前6時頃)、宝円寺着。 葬儀後、巳刻(午前10時頃)前出棺し、石引・香林坊・才川大橋・寺町を通り、申中刻(午後4時頃)、 野田に着棺している。</p>	
金龍院様御葬儀ニ付御作法	16. 16-302
金龍院様御葬式御行列附	18. 9-14
御葬式御法語	16. 16-304
野田山御廟所絵図	18. 1-52
金龍院様御葬式御用野田山絵図	18. 9-16
<p>金龍院は12代齊広^{なりなが} 文政7(1824)年7月10日に逝去。 葬式は7月28日、天徳院で行われ、野田山で埋葬される。</p>	

〔史料名〕	〔史料番号〕
野田山前田家廟地略図	090-403
明治35年(1960) 藤井 鏡 製図	
野田桃雲寺文書写	16. 61-115
寛延2年(1749)の桃雲寺由来書には「野田之宝円寺」とある。	
三 壺 聞 書	16. 28-13
「大納言利家公御逝去之事」の項には、慶長4年に逝去した初代利家が野田山に葬られたときの様子が書かれている。	
高德院瑞龍院石龕并墓図	16. 61-308
絵図は七尾の長齡寺の石龕 <small>せきがん</small> および墓を描いたもの。	
野田山においても石龕とその中に宝篋印塔が納められていたとも考えられる。	
故正二位前田斉泰公送葬御行列略図	090-614
13代 <small>なりやす</small> 斉泰は明治17(1942)年に逝去し、神葬で東京の日暮里に葬られる。	
尊 号 録	18. 9-29
初代利家の先代から14代 <small>よしやす</small> 慶寧までの藩主・正室・子の戒名・通称・産母・享年・忌日・位牌所を一覧で記す。	

※展示替え等により、一部展示史料と異なる場合があります。

前田家藩主の菩提寺等一覧

藩主	法号等	没年	菩提寺	葬地・墓地等
1代 利家	高德院桃雲浄見大居士	慶長 4年 (1599)	宝円寺	野田山
2代 利長	瑞龍院聖山英賢大居士	慶長19年 (1614)	瑞龍寺	野田山 (拜墓)
4代 光高	陽広院将巖天良大居士	正保 2年 (1645)	天徳院	天徳院
3代 利常	微妙院一峰充乾大居士	万治 1年 (1658)	宝円寺	野田山
5代 綱紀	松雲院徳翁一斎大居士	享保 9年 (1724)	天徳院	野田山
6代 吉徳	護国院佛鑑法性大居士	延享 2年 (1745)	宝円寺	野田山
7代 宗辰	大心院梅関雪峰大居士	延享 3年 (1746)	天徳院	野田山
8代 重熙	謙徳院緝甫尚古大居士	宝暦 3年 (1753)	宝円寺	野田山
9代 重靖	天珠院嘯月仁勇大居士	宝暦 3年 (1753)	天徳院	天徳院
10代 重教	泰雲院仁山彭寿大居士	天明 6年 (1786)	宝円寺	野田山
	齐敬 観樹院法山道輪大居士	寛政 7年 (1795)	天徳院	天徳院
11代 治脩	太梁院俊山徳英大居士	文化 7年 (1810)	宝円寺	野田山
12代 齐広	金龍院文古雲遊大居士	文政 7年 (1824)	天徳院	野田山
14代 慶寧	恭敏公	明治 7年 (1874)		日暮里 (神葬)
13代 齐泰	温敬公	明治17年 (1884)		日暮里 (神葬)

※ 一覧は没年順に並べている。

※ 8代重熙は宝暦3年4月に、9代重靖は9月に没している。

※ 齐敬は11代治脩の養子となり、寛政3年、正四位下左近衛権少将佐渡守に任ぜられるが、18才で没する。